



川内小学校だより

# ゆずり葉

第4号

令和3年7月8日  
桐生市立川内小学校発行



## 七夕集会（テレビ放映）が行われました。

昨日7月7日に七夕集会が行われました。子どもたちは、事前に短冊に書いた願いごとや飾りを笹に付けて教室に飾りました。願い事からは、よりよい自分、よりよいクラス、よりよい学校にしていこうという気持ちが伝わってきました。



<提灯>



<網>

笹につける飾りについてですが、「提灯」は、願い事を照らす明かり、「網」は、大漁と自然の恵みなどと、私たちの身の回りにある大切な物を表しているのだそうです。身の周りのものに感謝しながら七夕の日を過ごすことも大切ですね。

## 地域の皆様 ありがとうございます。



<民生委員の皆様による  
あいさつ運動>



<読み聞かせ>



<「学童多し最徐行」看板>  
川内3丁目内に設置していただきました（ 様前道路）

### ご家庭へのお願い

コロナウイルス感染症にかかる県の警戒度については、7月5日より「2」に移行しましたが、引き続き、感染防止対策を徹底しながら学習活動を行います。また、熱中症対策についても配慮してまいります。

- お子様及び、ご家族の皆様の健康状態の確認（健康チェックカードへの記入も）につきましてお願いいたします。
- バランスのよい朝ごはんは、熱中症予防になります。
- お子様及び同居のご家族が検査等を受けることになった場合には、必ず学校（夜間、休日の場合は、桐生市役所 46-1111）へご連絡いただけますようお願いいたします。

## 6年生 とっさの判断、素晴らしい対応

これからの世の中は、予測困難な時代で、正解のない時代であるともいわれています。

そのような将来を生き抜くためには、目の前の課題に対して、どう立ち向かっていくか、自分で考え、判断することが必要になってきます。また、判断する時には、今まで学んだ知識を使って答えを導き出したり、友達と相談しながら、自分たちの納得する答えを見つけ出したりすることも大切になってきます。

ここでは、突然起こったできごとに対し、自分たちで考え、とっさに判断することができた6年生を紹介します。

先週、低学年の児童が、下校途中に転んでけがをしてしまいました。ちょうど、そこに6年生の児童3名（            さん、            さん、            さん）が、通りかかりました。

3人の児童は、声を掛け合い、「けがをした児童のお宅に連絡をする」「近くのお宅に助けを求める」「学校に連絡をする」「けがをした児童のそばで見守る」ことを、短時間で手分けをして行いました。

3人の児童の立派な行動により、けがをした児童はすぐに病院に運ばれ、大事にいたりませんでした。突然のできごとでしたが、3人は今何をすべきかをとっさに判断し、行動に移すことができました。そして、何より、低学年の児童を思う優しさやこのままにしておくといけないという責任感の表れた行動でした。

先日、校長室でこの3人の児童と話しをした際、次のようなことも話してくれました。

今の川内小学校の様子で気になることは、「校舎の中で走っている人がいて危ないので、注意しようと思う」「水道の蛇口が上を向いていると流しが水浸しになるので、蛇口を下向きに直したいと思う」など、さらに素晴らしい学校にするための考えももっているようです。

いざというときにすごい力を発揮できる、川内小の子どもたち。これからも大切に見守っていきます。

## 桜の木（プール南側）の伐採について

桜の木の枝が落ちて危険なことから、児童及び地域の方々の安全を第一に考え、6月30日に伐採させていただきました。

地域の皆様におかれましては、伐採及び伐採に関わる道路の通行規制等につきまして、ご迷惑をおかけし申し訳ございませんでした。無事終わることができました。たいへんお世話になりました。